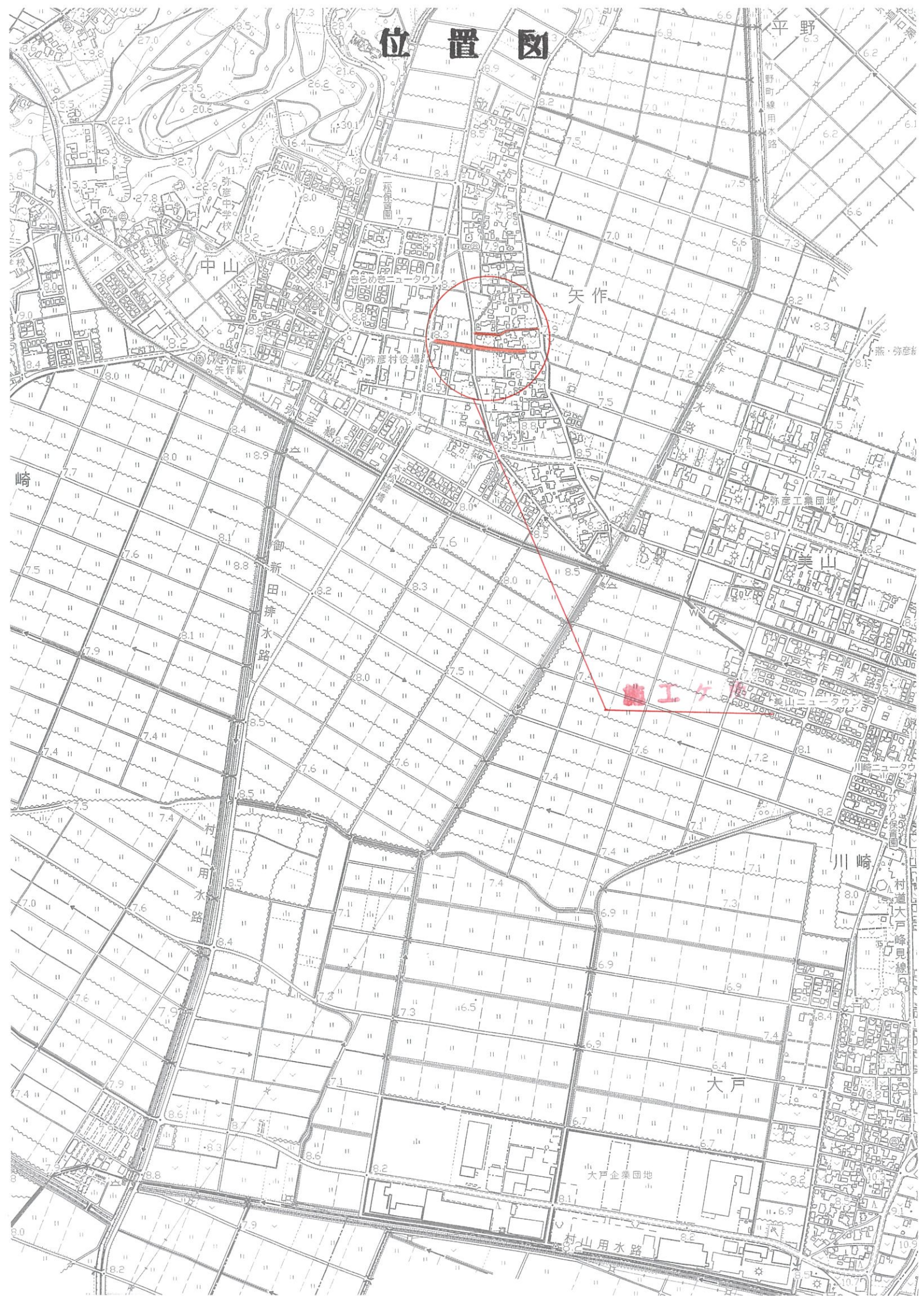
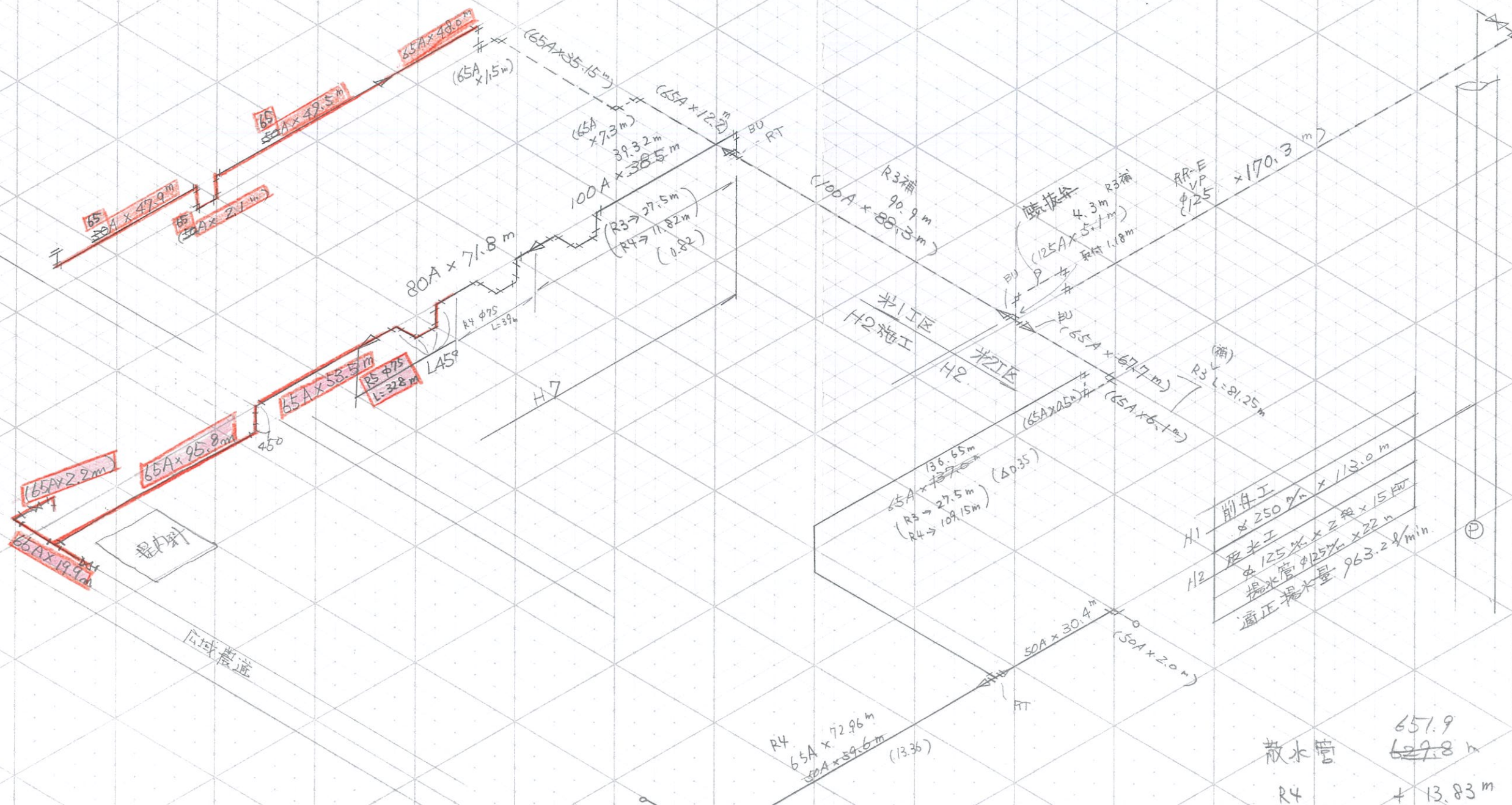
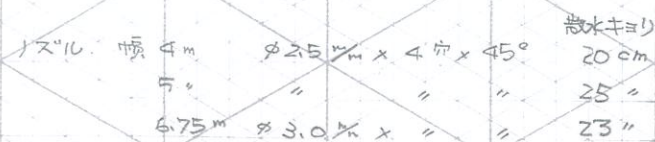


位置図





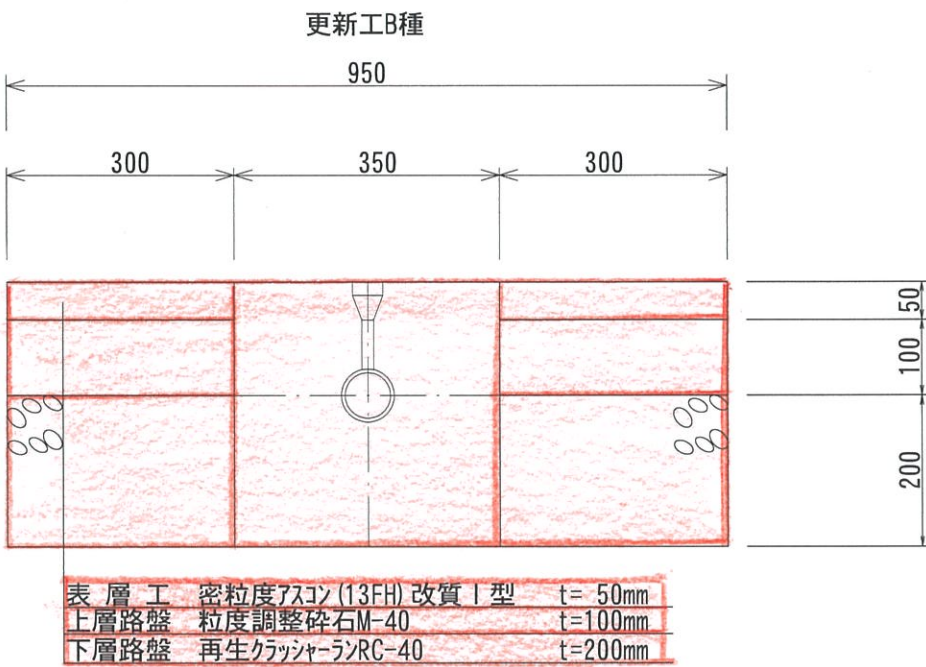
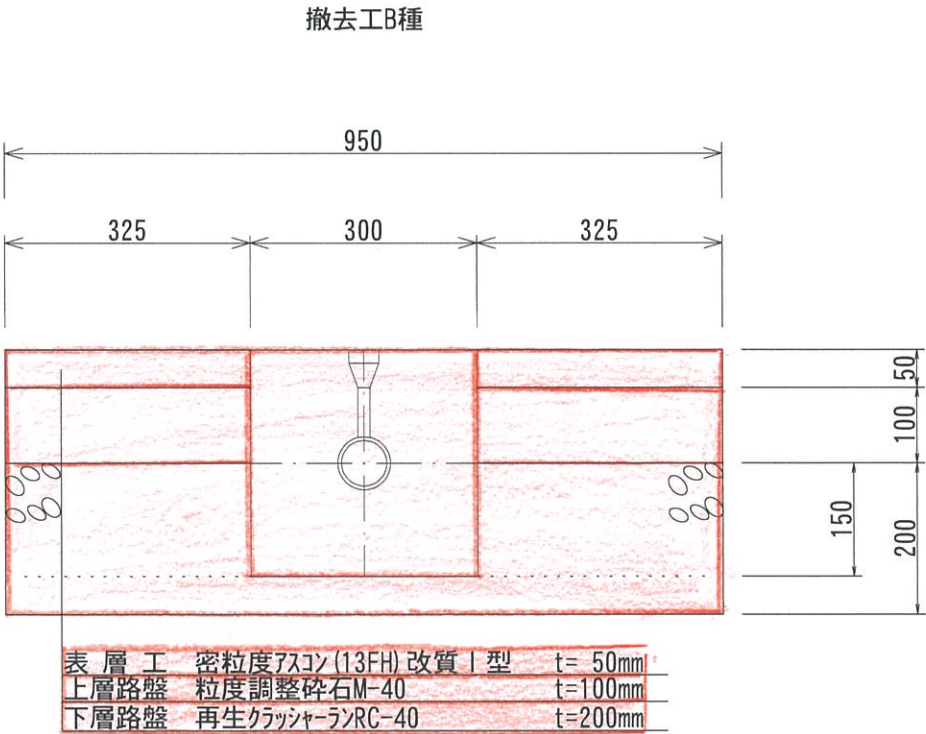
矢作地区 配膳系統圖



散水管

R4 + 13.83 m

標準断面図 (1) S=1:10

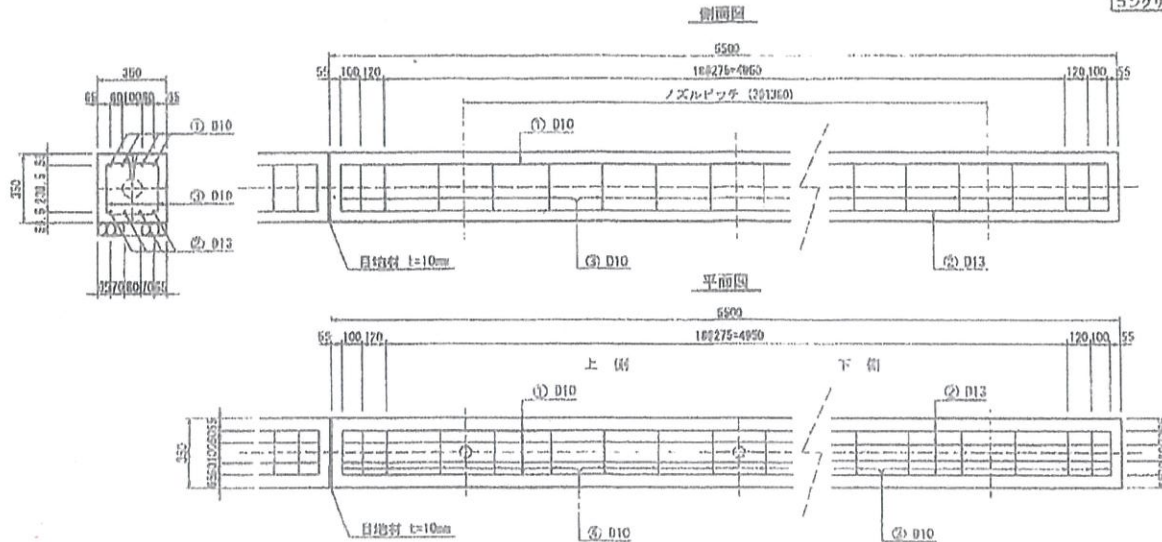


① 車道部消雪パイプ参考図

(配管径 150A以下)

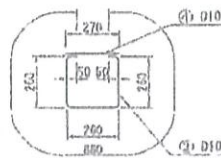
現場打設コンクリート

項目	設計値
設計降雪量	50 mm
コンクリート設計基準強度	30 N/mm ²



(注) 地盤反力係数 $2 \times 10^4 \text{ N/m}^2$ 以上
地盤に適用する (よく締め固められた
砂漠じり砂利)
なお、その値を下回ると決定される
場合には別途考慮するものとする。

組立簡加工図



鉄筋表

5.50m当り

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	備考
1	D10	4	5,390	0.560	12.074	
2	D13	4	5,390	0.995	21.452	
3	D10	23	880	0.560	11.334	
4	D10	23	270	0.560	3.478	
D13以下 = 40.330kg				740 76.886		
※55.0m当り				D13以下 = 483.360kg		

(注) 鉄筋は、S0295Aの使用を基本とする。

コンクリート算数量表

0.0% 0.089 0.116 0.140 0.165 0.190 5.50m当り

	65	75	100	125	150	換算
全体断面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35 \text{ m}^2$
パイプ断面積 (B)	0.0046	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2 / 4 \text{ m}^2$
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A)-(B) m^2
コンクリート体積 (D)	0.640	0.640	0.618	0.580	0.550	(C) $\times 5.50 \text{ m}^3$
※ 55.0m 当り	6.48	6.40	6.16	5.83	5.56	(D) $\times 10 \text{ m}^3$
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) $\times 0.123 \text{ m}^2 = 1.23 \text{ m}^2$					(t = 10mm)
※ 露筋鉄	0.35 $\times 55.0 \text{ m} = 19.25 \text{ m}^2$					

(注) 1 パイプはVPとしての数量を示す。
2 基礎クラッシャーランを入れる場合は露筋鉄を斜上しない。
3 ※55.0m 当りの数量を示す。